

公益社団法人日本顕微鏡学会

第9回 令和2年度(2020年度)定時総会

日時 令和2年7月4日(土) 14:00 開会

場所 ビジョンセンター東京駅前 707号室
(東京都中央区八重洲1-8-17 新槇町ビル7F)

議案資料

議案

第1号議案. 令和元年度事業の件

第2号議案. 令和元年度計算書類等の件

第3号議案. 年会費と入会金見直しの件

第4号議案. 名誉会員推薦の件

第1号議案. 令和元年度事業の件

I. 令和元年度事業報告

1. 庶務

(1) 会議

- ① 第8回(令和元年度)定時総会(令和元年6月18日)
- ② 常務理事会(6回:令和元年5月18日、6月16日、8月24日、11月28日、1月25日、令和2年3月14日)
- ③ 理事会(7回:令和元年5月18日、6月16日、6月18日、6月19日、8月24日、11月28日、令和2年3月14日)
- ④ 学術運営委員会(2回:令和元年8月24日、令和2年3月14日)
- ⑤ 学術運営合同会議(2回:令和元年6月16日、11月28日)
- ⑥ 諸委員会、その他の会合の開催

(2) その他

- ① 監査(令和元年5月14日)
- ② 創立70周年記念式典(令和元年6月18日)

2. 会 員

(1) 会員数(令和2年3月31日現在)

- ① 正会員 1,610名(海外会員11名、永年会員26名、シニア会員40名含む)
※支部別正会員数:北海道支部 60名、関東支部 934名、関西支部 480名、九州支部 139名
- ② 賛助会員 76社(137口)
- ③ 名誉会員 19名(海外5名含む)
- ④ 学生会員 106名

(2) 会員異動

	入会者数	退会者数
① 正会員	61名	78名(永年会員1名、シニア会員名含む)
② 学生会員	20名	4名
③ 名誉会員	0名	1名(逝去)
④ 賛助会員	3社	3社

3. 事 業

(1) 研究発表会、講習会等の開催(定款第4条第1項の1)

- ① 第 75 回学術講演会(実行委員長:武藤俊介)
会 期:令和元年 6 月 17 日(月)～6 月 19 日(水)
会 場:名古屋国際会議場
参加者総数:1,027 名
- ② 第 62 回シンポジウム(実行委員長:秋元義弘)
会 期:令和元年 11 月 29 日(金)～11 月 30 日(土)
会 場:埼玉会館
参加者数:300 名
- ③ 第 29 回電子顕微鏡大学(実行委員長:原 徹)
会 期:令和元年 7 月 4 日(木)～7 月 5 日(金)
会 場:東京大学本郷キャンパス
参加者数:75 名
- ④ 第 30 回電顕サマースクール(実行委員長:森本景之)
会 期:令和元年 8 月 8 日(木)～8 月 10 日(土)
会 場:産業医科大学
参加者数:56 名
- ⑤ 少年理科授業支援(公益事業企画推進委員会委員長:三留正則)
全国の小中学校39校で SEM 体験実習等を実施。 参加者 4,223 名
- ⑥ 市民公開講座(第 75 回学術講演会実行委員長:武藤俊介)
会 期:令和元年 6 月 16 日(日)
会 場:名古屋国際会議場
参加者数:200 名
- ⑦ 市民公開講座(第62回シンポジウム実行委員長:秋元義弘)
会 期:令和元年 11 月 30 日(土)
会 場:埼玉会館
参加者数:50 名

(2) 調査、研究、見学および視察(定款第4条第1項の2)

i)分科会(10 件)

- ① 走査電子顕微鏡分科会(責任者:多持隆一郎)
講演会 SCANTECH2019
日程:令和元年 8 月 30 日(金)、会場:東京都市大学 世田谷キャンパス
参加者数:167 名
- ② 高分解能顕微鏡法分科会(責任者:大島義文)
令和2年2月に予定していた研究会は新型コロナウイルス感染拡大に伴い開催中止。
- ③ SEM の物理学分科会(責任者:熊谷和博)

研究会

日程:令和元年5月31日(金)、会場:産業技術総合研究所

参加者数:91名

④ 走査型プローブ顕微鏡分科会(責任者:井藤浩志)

研究会

日程:令和元年7月15日(月)、会場:高松シンボルトワーホール

参加者数:8名

研究会

日程:令和元年9月3日(月)~4日(火)、会場:幕張メッセ

参加者数:27名

研究会

日程:令和元年12月1日(日)~2日(月)、会場:湯沢ニューオータニホテル

参加者数:25名

⑤ 電子顕微鏡解析技術分科会(責任者:丸山秀夫)

シンポジウム

日程:令和元年6月17日(水)、会場:名古屋国際会議場

参加者数:150名

イブニングセッション

日程:令和元年6月17日(水)、会場:名古屋国際会議場

参加者数:70名

フォーラム

日程:令和2年1月24日(金)、会場:新大阪丸ビル別館

参加者数:55名

⑥ 分析電子顕微鏡分科会(責任者:坂口紀史)

分析電顕討論会

日程:令和元年9月3日(火)~4日(水)、会場:幕張メッセ 国際会議場

参加者数:129名

⑦ 生体解析分科会(責任者:伊藤喜子)

研究会

日程:令和元年9月14日(土)~17日(火)、会場:英国ブリストル大学

参加者数:20名

合同セミナー

日程:令和元年6月8日(土)、会場:東京大学 武田先端知ビル

参加者数:60名

合同シンポジウム

日程:令和元年11月30日(土)、会場:埼玉会館

参加者数:50名

⑧ 微生物細胞の顕微鏡解析分科会(責任者:山田博之)

シンポジウム

日程:令和元年11月29日(金)、会場:埼玉会館

参加者数:50名

⑨ 電子光学設計技術分科会(責任者:小瀬洋一)

令和2年2月に予定していた研究会は新型コロナウイルス感染拡大に伴い開催延期。

⑩ その場観察分科会(責任者:松田潤子)

ワークショップ

日程:令和元年11月7日(木)、会場:九州大学

参加者数:20名

研究討論会

日程:令和元年11月8日(金)、会場:九州大学

参加者数:57名

ii)研究部会(3件)

① ソフトマテリアル研究部会(責任者:陣内浩司)

講演会

日程:令和元年6月18日(火)、会場:名古屋国際会議場

参加者数:50名

講演会

日程:令和元年10月25日(金)~10月26日(土)、会場:アクティブリゾート宮城蔵王

参加者数:42名

② 顕微鏡計測インフォマティクス研究部会(責任者:齋藤 晃)

研究会

日程:令和2年1月25日(土)、会場:名古屋大学工学部

参加者数:60名

③ 生体機能ボリュームデータ解析研究部会(責任者:太田啓介)

令和2年3月に予定していた研究会は新型コロナウイルス感染拡大に伴い開催延期。

(3) 学術誌、学会誌および学術図書の発行(定款第4条第1項の3)

① 欧文誌(Microscopy 第68巻:2号~6号、第69巻:1号)6冊 435頁

2019年4、6、8、10、12月、2020年2月 各270部発行

② 欧文誌(The 62nd Symposium of The Japanese Society of Microscopy) 電子出版 61頁

2019年11月

③ 和文誌(顕微鏡 第54巻:1~3号)3冊 155頁

平成31年4月、令和元年8、12月 各2,000部発行

- ④ 会報(和文誌「顕微鏡」と同送) 3回 15頁
平成31年4月、令和元年8、12月 各2,000部発行
- ⑤ 第75回学術講演会発表要旨集 要旨数432件
令和元年5月1,000部発行

(4) 研究業績の表彰および研究の奨励(定款第4条第1項の4)

①賞の授与:令和元年6月18日(火)(第75回学術講演会時)
第64回学会賞(瀬藤賞)選考委員会(委員長:寺内正己)

【A: 顕微鏡法基礎部門】

該当者なし

【B: 応用研究(生物系)部門】

該当者なし

【C: 応用研究(非生物系)部門】

該当者なし

第34回論文賞選考委員会(委員長:齋藤 晃)

【a: 顕微鏡法基礎部門】(2件)

“Direct observation of the actin filament by tip-scan atomic force microscopy”

(Microscopy, Vol.65, No.4 pp. 370-377)

:Akihiro Narita, Eiji Usukura, Akira Yagi, Kiyohiko Tateyama, Shogo Akizuki, Mahito Kikumoto,
Tomoharu Matsumoto, Yuichiro Maeda, Shuichi Ito, Jiro Usukura

“Boundary-artifact-free determination of potential distribution from differential phase contrast signals”

(Microscopy, Vol.66, No.6 pp. 397-405)

:Akimitsu Ishizuka, Masaaki Oka, Takehito Seki, Naoya Shibata, Kazuo Ishizuka

【b: 応用研究(生物系)部門】(2件)

“In vivo dynamics of the cortical actin network revealed by fast-scanning atomic force microscopy”

(Microscopy, Vol.66, No.4 pp. 272-282)

:Yanshu Zhang, Aiko Yoshida, Nobuaki Sakai, Yoshitsugu Uekusa, Masahiro Kumeta, Shige H. Yoshimura

“Structome analysis of Escherichia coli cells by serial ultrathin sectioning reveals the precise cell profiles and the ribosome density”

(Microscopy, Vol.66, No.4 pp. 283-294)

:Hiroyuki Yamada, Masashi Yamaguchi, Kiminori Shimizu, Somay Yamagata Murayama,
Satoshi Mitarai, Chihiro Sasakawa, Hiroji Chibana

【c: 応用研究(非生物系)部門】(1件)

“Mathematical analysis and STEM observations of arrangement of structural units in〈001〉
symmetrical tilt grain boundaries”

(Microscopy, Vol.65, No.6 pp. 479-487)

:Kazutoshi Inoue, Mitsuhiro Saito, Chunlin Chen, Motoko Kotani, Yuichi Ikuhara

第 16 回和文誌賞選考委員会(委員長:齋藤 晃)

【d: 和文誌賞部門】(1 件)

「インフルエンザウイルスのゲノムパッケージング機構」

(顕微鏡 Vol.51, No.1, pp.23-28(2016))

:野田岳志

第 24 回技術功労賞選考委員会

該当者なし

第 20 回奨励賞選考委員会(委員長:大島義文)

【Ⅰ:顕微鏡法基礎部門】(2 名)

原野幸治

「有機分子および分子集合体の高分解能電顕観察手法の開発と機能性材料創製への応用」

川本直幸

「STEM によるナノスケール熱分析顕微鏡法の開発」

【Ⅱ:生物系応用研究部門】(1 名)

福田善之

「クライオ位相差透過電子顕微鏡法を用いた細胞の超微細形態の研究」

【Ⅲ:物質系応用研究部門】(1 名)

小林俊介

「走査型透過電子顕微鏡を用いたリチウムイオン二次電池正極単結晶の研究」

②「長舩記念特別研究奨励金」を公募し審査の結果、6 名の若手研究者に奨励金を支給した。

(5) 技術向上のための技術認定(定款第4条第1項の5)

① 電子顕微鏡技術認定試験(認定委員長:秋元義弘)

試験日:令和元年 10 月 5 日(土)

会 場:東京, 京都, 福岡

申込者数:二級技士(生物)57 名、一級技士 11 名

受験者数:二級技士(生物)55 名、一級技士 11 名(I~IV 合計)

認定合格者:二級技士(生物)48 名、一級技士 11 名

4. 支部活動

(1) 北海道支部(支部長:柴山環樹)

支部講演会 日程:令和元年 12 月 7 日(土)、会場:北海道大学工学部

(2) 関東支部(支部長:秋元義弘)

支部講演会 日程:令和元年 11 月 30 日(土)、会場:埼玉会館

光顕・電顕試料作製・観察実技講習会 各会場(別日程)

(3) 関西支部(支部長:保田英洋)

特別講演会 日程:令和元年12月13日(金)~14日(土)、会場:愛媛大学

(4) 九州支部(支部長:安永卓生)

支部講演会 日程:令和元年12月14日(土)、会場:九州工業大学

5. 関連諸団体との研究連絡および情報交換ならびに協力

(1) 海外連携

- ・IFSM(International Federation of Societies for Microscopy)の役員活動
- ・CAPSM(Committee of Asia Pacific Society for Microscopy)の役員活動
- ・EAMC(East-Asia Microscopy Conference)の役員活動
- ・2019年9月に台湾で開催予定のEAMC4は2020年11月に延期になった。

(2) 国内連携

- ・公益社団法人日本工学会への参画
- ・一般社団法人日本生物物理学会との相互連携
- ・一般社団法人日本解剖学会との相互連携
- ・公益社団法人高分子学会との相互連携
- ・関係学協会との協賛

6. その他本会の目的達成に必要な事業

(1) ホームページ <http://www.microscopy.or.jp/>

(2) 会員専用ページの運営 <https://www.bunken.org/jsm/mypage/>

7. 諸委員会

- | | |
|--|-----------------|
| (1) Microscopy 編集委員会(委員長:岡部繁男) | 任期:2020年12月末日まで |
| (2) 「顕微鏡」編集委員会(委員長:平山司) | 任期:2021年3月末日まで |
| (3) 技術認定委員会(委員長:秋元義弘) | 任期:2021年3月末日まで |
| (4) 第65回日本顕微鏡学会学会賞(瀬藤賞)選考委員会(委員長:武藤俊介) | 任期:2020年12月末日まで |
| (5) 第35回論文賞選考委員会(委員長:津田健治) | 任期:2020年12月末日まで |
| (6) 第17回和文誌賞選考委員会(委員長:津田健治) | 任期:2020年12月末日まで |
| (7) 第21回奨励賞選考委員会(委員長:陣内浩司) | 任期:2020年12月末日まで |
| (8) 第25回技術功労賞選考委員会(委員長:立花利公) | 任期:2020年12月末日まで |
| (9) 第75回学術講演会実行委員会(委員長:武藤俊介) | 任期:2019年12月末日まで |
| (10) 第76回学術講演会実行委員会(委員長:高井義造) | 任期:2020年12月末日まで |
| (11) 第77回学術講演会実行委員会(委員長:藤田大介) | 任期:2021年12月末日まで |

- | | |
|-----------------------------------|--------------------|
| (12) 第 62 回シンポジウム実行委員会(委員長:秋元義弘) | 任期:2019 年 12 月末日まで |
| (13) 第 63 回シンポジウム実行委員会(委員長:渡辺精一) | 任期:2020 年 12 月末日まで |
| (14) 第 30 回サマースクール実行委員会(委員長:森本景之) | 任期:2019 年 12 月末日まで |
| (15) 第 31 回サマースクール実行委員会(委員長:樋田一徳) | 任期:2020 年 12 月末日まで |
| (16) 第 29 回電子顕微鏡大学実行委員会(委員長:原 徹) | 任期:2019 年 12 月末日まで |
| (17) 第 30 回電子顕微鏡大学実行委員会(委員長:原 徹) | 任期:2020 年 12 月末日まで |
| (18) 財務委員会(委員長:幾原雄一) | 任期:2021 年総会まで |
| (19) 学術運営委員会(委員長:中村桂一郎) | 任期:2021 年総会まで |
| (20) 表彰委員会(委員長:幾原雄一) | 任期:2021 年総会まで |
| (21) 国際交流委員会(委員長:松村 晶) | 任期:2021 年総会まで |
| (22) 学会連携推進委員会(委員長:陣内浩司、中澤英子) | 任期:2021 年総会まで |
| (23) 広報委員会(委員長:荒河一渡) | 任期:2021 年総会まで |
| (24) 将来構想委員会(委員長:田中信夫) | 任期:2020 年総会まで |
| (25) 公益事業企画推進委員会(委員長:三留正則) | 任期:2021 年総会まで |

II. 令和元年度事業報告の附属明細書

附属明細書に該当する内容はあります。

第2号議案. 令和元年度計算書類等の件

貸借対照表

令和 2年 3月31日現在

公益社団法人日本顕微鏡学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	30,286,729	34,722,685	△ 4,435,956
未収金	0	21,600	△ 21,600
前払費用	399,134	766,194	△ 367,060
仮払金	11,140	18,540	△ 7,400
流動資産合計	30,697,003	35,529,019	△ 4,832,016
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
第4回東アジア顕微鏡学会議特定資金	1,000,000	1,000,000	0
70周年記念企画事業特定資金	0	3,200,000	△ 3,200,000
長舩記念特別研究奨励金特定資金	1,500,000	3,000,000	△ 1,500,000
IMC開催準備資金	10,000,000	10,000,000	0
学術振興積立預金	23,970,671	23,970,671	0
特定資産合計	36,470,671	41,170,671	△ 4,700,000
(3) その他固定資産			
敷金	829,140	152,000	677,140
その他固定資産合計	829,140	152,000	677,140
固定資産合計	47,299,811	51,322,671	△ 4,022,860
資産合計	77,996,814	86,851,690	△ 8,854,876
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	378,242	211,797	166,445
前受金	376,000	976,601	△ 600,601
前受会費	1,711,000	3,233,500	△ 1,522,500
預り金	172,215	147,750	24,465
仮受金	0	592,810	△ 592,810
流動負債合計	2,637,457	5,162,458	△ 2,525,001
負債合計	2,637,457	5,162,458	△ 2,525,001
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(36,470,671)	(41,170,671)	(△ 4,700,000)
正味財産合計	75,359,357	81,689,232	△ 6,329,875
負債及び正味財産合計	77,996,814	86,851,690	△ 8,854,876

正味財産増減計算書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

公益社団法人日本顕微鏡学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
1. 基本財産運用益	1,000	1,000	0
基本財産受取利息	1,000	1,000	0
2. 特定資産運用益	42	81	△ 39
特定資産受取利息	42	81	△ 39
3. 受取入会金	58,000	68,000	△ 10,000
4. 受取会費	22,248,000	22,708,000	△ 460,000
正会員受取会費	13,812,000	14,296,000	△ 484,000
正会員	13,519,000	14,018,500	△ 499,500
海外	84,000	96,000	△ 12,000
シニア	209,000	181,500	27,500
学生会員受取会費	396,000	312,000	84,000
学生会員	396,000	312,000	84,000
賛助会員受取会費	8,040,000	8,100,000	△ 60,000
賛助	8,040,000	8,100,000	△ 60,000
5. 事業収益	60,220,591	58,949,694	1,270,897
刊行事業収益	9,124,928	9,021,747	103,181
購読料収益	341,010	263,880	77,130
論文掲載・別刷代収入	706,229	534,016	172,213
広告料収益	1,840,920	1,854,360	△ 13,440
ロイヤリティ	6,156,504	6,296,569	△ 140,065
雑収益	80,265	72,922	7,343
講演会・セミナー事業収益	46,267,463	42,717,327	3,550,136
参加登録費収益	15,784,000	13,782,000	2,002,000
要旨集代収益	1,363,000	1,379,720	△ 16,720
懇親会収益	2,864,000	2,947,500	△ 83,500
展示料収益	20,408,000	13,573,600	6,834,400
広告料収益	3,066,800	3,851,907	△ 785,107
協賛セミナー収益	1,922,400	2,122,400	△ 200,000
受取補助金	441,260	4,667,000	△ 4,225,740
受取寄附金	410,000	380,000	30,000
雑収益	8,003	13,200	△ 5,197
技術認定事業収益	425,200	283,600	141,600
調査研究事業収益	4,403,000	6,927,020	△ 2,524,020
参加収益	3,637,500	4,627,500	△ 990,000
懇親会収益	84,000	717,000	△ 633,000
広告収益	430,000	210,000	220,000
雑収益	11,500	131,000	△ 119,500
宿泊料収益	240,000	1,181,520	△ 941,520
寄附金収益	0	60,000	△ 60,000
6. 支部収益	1,524,000	3,010,500	△ 1,486,500
7. 受取補助金等	0	0	0
8. 受取寄附金	0	0	0
9. 雑収益	6,903	4,581	2,322
受取利息	3,603	3,581	22
雑収益	3,300	1,000	2,300
経常収益計	84,058,536	84,741,856	△ 683,320

科 目	当年度	前年度	増減
(2) 経常費用			
事業費	84,885,897	86,515,637	△ 1,629,740
人件費	4,416,318	1,419,179	2,997,139
給料手当	7,342,464	7,271,688	70,776
法定福利費	632,242	596,871	35,371
懇親会費	4,709,887	5,965,800	△ 1,255,913
会議費	2,416,950	2,647,611	△ 230,661
旅費交通費	6,934,088	11,019,920	△ 4,085,832
会場費	20,392,957	16,367,109	4,025,848
通信運搬費	1,645,791	1,604,212	41,579
刊行物管理費	79,870	78,960	910
消耗品費	862,366	2,221,664	△ 1,359,298
印刷製本費	12,587,602	13,140,075	△ 552,473
賃借料	1,042,589	689,472	353,117
広告宣伝費	551,001	4,239,141	△ 3,688,140
諸謝金	2,481,825	1,777,986	703,839
租税公課	70,550	17,652	52,898
事務局人件費	333,846	753,084	△ 419,238
補助金	1,500,000	2,839,676	△ 1,339,676
委託費	12,749,332	12,401,592	347,740
共催費	330,000	444,030	△ 114,030
雑費	3,265,091	659,631	2,605,460
広報活動費	0	64,800	△ 64,800
光熱水料費	92,512	73,371	19,141
支払手数料	208,943	0	208,943
リース費	75,298	69,023	6,275
保管料	164,375	153,090	11,285
管理費	5,502,514	6,286,722	△ 784,208
給料手当	815,829	807,965	7,864
法定福利費	70,249	66,319	3,930
会議費	168,562	164,030	4,532
旅費交通費	547,555	827,108	△ 279,553
通信運搬費	172,583	160,429	12,154
消耗品費	43,637	32,389	11,248
印刷製本費	71,615	69,551	2,064
賃借料	446,824	295,488	151,336
諸会費	107,955	34,300	73,655
租税公課	70,550	17,651	52,899
事務局人件費	37,094	83,676	△ 46,582
選挙管理費	0	881,912	△ 881,912
委託費	2,464,362	2,623,105	△ 158,743
雑費	253,787	96,163	157,624
光熱水料費	39,648	31,445	8,203
支払手数料	89,547	0	89,547
リース費	32,270	29,581	2,689
保管料	70,447	65,610	4,837
経常費用計	90,388,411	92,802,359	△ 2,413,948
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,329,875	△ 8,060,503	1,730,628
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 6,329,875	△ 8,060,503	1,730,628
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 6,329,875	△ 8,060,503	1,730,628
一般正味財産期首残高	71,689,232	79,749,735	△ 8,060,503
一般正味財産期末残高	65,359,357	71,689,232	△ 6,329,875
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	0
III 正味財産期末残高	75,359,357	81,689,232	△ 6,329,875

正味財産増減計算書(内訳表)

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

公益社団法人日本顕微鏡学会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引消去	合計
	公1 学会事業				
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
1. 基本財産運用益	1,000		0		1,000
基本財産受取利息	1,000		0		1,000
2. 特定資産運用益	42		0		42
特定資産受取利息	42		0		42
3. 受取入会金	29,000		29,000		58,000
4. 受取会費	11,124,000		11,124,000		22,248,000
正会員受取会費	6,906,000		6,906,000		13,812,000
正会員	6,759,500		6,759,500		13,519,000
海外	42,000		42,000		84,000
シニア	104,500		104,500		209,000
学生会員受取会費	198,000		198,000		396,000
学生会員	198,000		198,000		396,000
賛助会員受取会費	4,020,000		4,020,000		8,040,000
賛助	4,020,000		4,020,000		8,040,000
5. 事業収益	60,220,591		0		60,220,591
刊行事業収益	9,124,928		0		9,124,928
購読料収益	341,010		0		341,010
論文掲載・別刷代収入	706,229		0		706,229
広告料収益	1,840,920		0		1,840,920
ロイヤリティ	6,156,504		0		6,156,504
雑収益	80,265		0		80,265
講演会・セミナー事業収益	46,267,463		0		46,267,463
参加登録費収益	15,784,000		0		15,784,000
要旨集代収益	1,363,000		0		1,363,000
懇親会収益	2,864,000		0		2,864,000
展示料収益	20,408,000		0		20,408,000
広告料収益	3,066,800		0		3,066,800
協賛セミナー収益	1,922,400		0		1,922,400
受取補助金	441,260		0		441,260
受取寄附金	410,000		0		410,000
雑収益	8,003		0		8,003
技術認定事業収益	425,200		0		425,200
調査研究事業収益	4,403,000		0		4,403,000
参加収益	3,637,500		0		3,637,500
懇親会収益	84,000		0		84,000
広告収益	430,000		0		430,000
雑収益	11,500		0		11,500
宿泊料収益	240,000		0		240,000
寄附金収益	0		0		0
6. 支部収益	1,524,000		0		1,524,000
7. 受取補助金等	0		0		0
8. 受取寄附金	0		0		0
9. 雑収益	0		6,903		6,903
受取利息	0		3,603		3,603
雑収益	0		3,300		3,300
経常収益計	72,898,633		11,159,903	0	84,058,536

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引消去	合計
	公1 学会事業				
(2) 経常費用					
事業費	84,885,897	0			84,885,897
人件費	4,416,318	0			4,416,318
給料手当	7,342,464	0			7,342,464
法定福利費	632,242	0			632,242
懇親会費	4,709,887	0			4,709,887
会議費	2,416,950	0			2,416,950
旅費交通費	6,934,088	0			6,934,088
会場費	20,392,957	0			20,392,957
通信運搬費	1,645,791	0			1,645,791
刊行物管理費	79,870	0			79,870
消耗品費	862,366	0			862,366
印刷製本費	12,587,602	0			12,587,602
賃借料	1,042,589	0			1,042,589
広告宣伝費	551,001	0			551,001
諸謝金	2,481,825	0			2,481,825
租税公課	70,550	0			70,550
事務局人件費	333,846	0			333,846
補助金	1,500,000	0			1,500,000
委託費	12,749,332	0			12,749,332
共催費	330,000	0			330,000
雑費	3,265,091	0			3,265,091
広報活動費	0	0			0
光熱水料費	92,512	0			92,512
支払手数料	208,943	0			208,943
リース費	75,298	0			75,298
保管料	164,375	0			164,375
管理費	0	5,502,514			5,502,514
給料手当	0	815,829			815,829
法定福利費	0	70,249			70,249
会議費	0	168,562			168,562
旅費交通費	0	547,555			547,555
通信運搬費	0	172,583			172,583
消耗品費	0	43,637			43,637
印刷製本費	0	71,615			71,615
賃借料	0	446,824			446,824
諸会費	0	107,955			107,955
租税公課	0	70,550			70,550
事務局人件費	0	37,094			37,094
選挙管理費	0	0			0
委託費	0	2,464,362			2,464,362
雑費	0	253,787			253,787
光熱水料費	0	39,648			39,648
支払手数料	0	89,547			89,547
リース費	0	32,270			32,270
保管料	0	70,447			70,447
経常費用計	84,885,897	5,502,514		0	90,388,411
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 11,987,264	5,657,389		0	△ 6,329,875
評価損益等計	0	0			0
当期経常増減額	△ 11,987,264	5,657,389		0	△ 6,329,875
2. 経常外増減の部					0
(1) 経常外収益					0
経常外収益計	0	0			0
(2) 経常外費用					0
経常外費用計	0	0		0	0
当期経常外増減額	0	0		0	0
他会計振替額	0	0		0	0
当期一般正味財産増減額	△ 11,987,264	5,657,389			△ 6,329,875
一般正味財産期首残高	△ 31,488,726	103,177,958			71,689,232
一般正味財産期末残高	△ 43,475,990	108,835,347		0	65,359,357
II 指定正味財産増減の部					0
当期指定正味財産増減額	0	0			0
指定正味財産期首残高	10,000,000	0			10,000,000
指定正味財産期末残高	10,000,000	0			10,000,000
III 正味財産期末残高	△ 33,475,990	108,835,347		0	75,359,357

予算対比正味財産増減計算書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

公益社団法人日本顕微鏡学会

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
1. 基本財産運用益	1,000	1,000	0
基本財産受取利息	1,000	1,000	0
2. 特定資産運用益	1,000	42	958
特定資産受取利息	1,000	42	958
3. 受取入会金	70,000	58,000	12,000
4. 受取会費	23,870,000	22,248,000	1,622,000
正会員受取会費	15,530,000	13,812,000	1,718,000
正会員	15,200,000	13,519,000	1,681,000
海外	120,000	84,000	36,000
シニア	210,000	209,000	1,000
学生会員受取会費	300,000	396,000	△ 96,000
学生会員	300,000	396,000	△ 96,000
賛助会員受取会費	8,040,000	8,040,000	0
賛助	8,040,000	8,040,000	0
5. 事業収益	56,408,000	60,220,591	△ 3,812,591
刊行事業収益	8,570,000	9,124,928	△ 554,928
購読料収益	320,000	341,010	△ 21,010
論文掲載・別刷代収益	550,000	706,229	△ 156,229
広告料収益	1,700,000	1,840,920	△ 140,920
ロイヤリティ	6,000,000	6,156,504	△ 156,504
雑収益	0	80,265	△ 80,265
講演会・セミナー事業収益	40,800,000	46,267,463	△ 5,467,463
参加登録費収益	13,440,000	15,784,000	△ 2,344,000
要旨集代収益	1,100,000	1,363,000	△ 263,000
懇親会収益	2,960,000	2,864,000	96,000
展示料収益	18,370,000	20,408,000	△ 2,038,000
広告料収益	2,610,000	3,066,800	△ 456,800
協賛セミナー収益	1,600,000	1,922,400	△ 322,400
受取補助金	450,000	441,260	8,740
受取寄附金	270,000	410,000	△ 140,000
雑収益	0	8,003	△ 8,003
技術認定事業収益	513,000	425,200	87,800
調査研究事業収益	6,525,000	4,403,000	2,122,000
参加収益	5,025,000	3,637,500	1,387,500
懇親会収益	870,000	84,000	786,000
広告収益	250,000	430,000	△ 180,000
雑収益	270,000	11,500	258,500
宿泊料収益	110,000	240,000	△ 130,000
6. 支部収益	1,770,000	1,524,000	246,000
7. 受取補助金等	0	0	0
8. 受取寄附金	0	0	0
9. 雑収益	100,000	6,903	93,097
受取利息	0	3,603	△ 3,603
雑収益	100,000	3,300	96,700
経常収益計	82,220,000	84,058,536	△ 1,838,536

科 目	予算額	決算額	差異
(2) 経常費用			
事業費	86,325,500	84,885,897	1,439,603
人件費	3,419,000	4,416,318	△ 997,318
給料手当	7,200,000	7,342,464	△ 142,464
法定福利費	540,000	632,242	△ 92,242
懇親会費	6,400,000	4,709,887	1,690,113
会議費	1,683,000	2,416,950	△ 733,950
旅費交通費	8,175,000	6,934,088	1,240,912
会場費	21,470,000	20,392,957	1,077,043
通信運搬費	1,668,500	1,645,791	22,709
刊行物管理費	80,000	79,870	130
消耗品費	777,000	862,366	△ 85,366
印刷製本費	12,603,000	12,587,602	15,398
賃借料	700,000	1,042,589	△ 342,589
広告宣伝費	1,185,000	551,001	633,999
諸謝金	2,300,000	2,481,825	△ 181,825
諸会費	165,000	0	165,000
租税公課	285,000	70,550	214,450
事務局人件費	459,000	333,846	125,154
補助金	2,010,000	1,500,000	510,000
委託費	11,518,000	12,749,332	△ 1,231,332
共催費	300,000	330,000	△ 30,000
雑費	3,090,500	3,265,091	△ 174,591
光熱水料費	66,500	92,512	△ 26,012
支払手数料	0	208,943	△ 208,943
リース料	77,000	75,298	1,702
保管料	154,000	164,375	△ 10,375
管理費	5,191,500	5,502,514	△ 311,014
給料手当	800,000	815,829	△ 15,829
法定福利費	60,000	70,249	△ 10,249
会議費	138,000	168,562	△ 30,562
旅費交通費	600,000	547,555	52,445
通信運搬費	150,000	172,583	△ 22,583
消耗品費	24,000	43,637	△ 19,637
印刷製本費	90,000	71,615	18,385
賃借料	300,000	446,824	△ 146,824
諸会費	35,000	107,955	△ 72,955
租税公課	285,000	70,550	214,450
事務局人件費	51,000	37,094	13,906
委託費	2,450,000	2,464,362	△ 14,362
雑費	81,000	253,787	△ 172,787
光熱水料費	28,500	39,648	△ 11,148
支払手数料	0	89,547	△ 89,547
リース料	33,000	32,270	730
保管料	66,000	70,447	△ 4,447
経常費用計	91,517,000	90,388,411	1,128,589
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 9,297,000	△ 6,329,875	△ 2,967,125
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 9,297,000	△ 6,329,875	△ 2,967,125
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	△ 9,297,000	△ 6,329,875	△ 2,967,125
一般正味財産期首残高	79,749,735	71,689,232	8,060,503
一般正味財産期末残高	70,452,735	65,359,357	5,093,378
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	0
III 正味財産期末残高	80,452,735	75,359,357	5,093,378

財産目録

令和2年 3月31日現在

公益社団法人日本顕微鏡学会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金	小口現金	事務局小口現金	運転資金として	12,500
	普通預金	三井住友信託銀行芝営業部(1028314)	運転資金として	13,431
		三菱UFJ銀行秋葉原支店(電頭大学口座/3000983)	運転資金として	3,274,260
		三菱UFJ銀行秋葉原支店(4550012)		2,000,000
		ゆうちょ銀行〇〇八店(顕微鏡編集口座/0136461)		5,587,199
		ゆうちょ銀行〇〇八店(Microscopy編集口座/6440297)		257,928
				711,496
	普通預金支部	ゆうちょ銀行〇〇八店(北海道支部口座/4068479)	運転資金として	227,410
		ゆうちょ銀行〇一八店(関東支部口座/7418962)		2,248,015
		ゆうちょ銀行〇一八店(関東支部講演会口座/7583201)		836,936
		ゆうちょ銀行〇一八店(関西支部口座/8791147)		516,288
		ゆうちょ銀行〇〇八店(九州支部口座/5500542)		1,474,590
		ゆうちょ銀行〇〇八店(九州支部講演会口座/69241651)		100,000
	普通預金分科会・研究部会	三菱UFJ銀行秋葉原支店(走査電子顕微鏡分科会口座/1094816)	運転資金として	1,478,571
		三菱UFJ銀行秋葉原支店(分析電子顕微鏡分科会口座/1095052)		2,627,006
		三菱UFJ銀行秋葉原支店(電子顕微鏡解析技術分科会口座/1095060)		892,935
		ゆうちょ銀行〇一八店(微生物細胞の顕微鏡解析分科会口座/8528949)		50,588
		ゆうちょ銀行〇〇八店(超高分解能顕微鏡法分科会口座/3590339)		484,287
		ゆうちょ銀行〇一八店(SEMの物理学分科会口座/8052897)		8,185
		常陽銀行新宿支店(走査型プローブ顕微鏡分科会口座/1072098)		653,227
		ゆうちょ銀行〇〇八店(生体解析分科会口座/4204095)		367,127
		ゆうちょ銀行〇〇八店(その場観察技術分科会口座/3933976)		345,644
		ゆうちょ銀行〇〇八店(生体ポリアームイメージング研究部会口座/9812645)		415,745
		ゆうちょ銀行〇一八店(電子光学設計技術分科会口座/9582722)		348,227
		ゆうちょ銀行〇一八店(ソフトマテリアル研究部会口座/9922872)		9,331
	振替口座	郵便振替口座(会費入金用/00120-9-445136)	運転資金として	1,676,951
		郵便振替口座(技術認定用/00160-7-130623)		3,398,852
		郵便振替口座(学術講演会用/00140-5-781793)		270,000
	前払費用	6/17 第76回学術講演会実行委員会弁当代 名鉄グランドホテル		19,570
		8/26 第76回学術講演会実行委員会旅費9名分		64,700
		8/26 第76回学術講演会実行委員会会議費		19,440
		第76回学術講演会趣意書送費		11,060
		11/26実行委員会会議室料・飲料(高井義造立替分)		11,290
		大阪教育委員会宛書類送付(高井義造立替分)		370
		11/26実行委員会旅費8名分		76,080
		翻訳料 CRL(株)		13,216
		第76回学術講演会 フライヤー印刷費(高井義造立替分)		9,827
		第76回学術講演会フライヤー送料		15,400
		2/26実行委員会会場代		9,000
		2/26実行委員会旅費7名分		56,040
		第76回学術講演会 フライヤー印刷費(高井義造立替分)		9,827
		フライヤー送料(高井義造立替分)		6,950
		IFSM年会費 2020年分		76,364
	仮払金	認定試験運営資金残金		11,140
流動資産合計				30,697,003
(固定資産)				
基本財産				
	定期預金	三井住友信託銀行芝営業部(8105851015-02)	交付者の定めた用途に充てるため保有し、 本法人に不可欠な財産として理事会で定め た公益目的保有財産。運用益は公1 学会事 業の財源として使用している	10,000,000
特定資産				
	第4回東アジア顕微鏡学会議	三菱UFJ銀行秋葉原支店(3069697)	公1 学会事業の積立資産であり、特定費 用準備資金として管理されている財産	1,000,000
	70周年記念企画事業特定資 金	三菱UFJ銀行秋葉原支店(3069697)	公1 学会事業の積立資産であり、特定費 用準備資金として管理されている財産	0
	長船記念特別研究奨励金特定 資金	三菱UFJ銀行秋葉原支店(3069697)	公1 学会事業の積立資産であり、特定費 用準備資金として管理されている財産	1,500,000
	IMC開催準備資金	三菱UFJ銀行秋葉原支店(3000658)	継続して公益目的事業に供するため、理 事会で定めた公益目的保有財産	10,000,000
	学術振興積立預金	三菱UFJ銀行秋葉原支店(3000661)	継続して公益目的事業に供するため、理 事会で定めた公益目的保有財産	23,970,671
その他固定資産				
	敷金			829,140
固定資産合計				47,299,811
資産合計				77,996,814
(流動負債)				
	未払金	委託費	1-3月分委託費 (株)国際文献社	137,290
		通信運搬費	1-3月分送料 (株)国際文献社	5,572
		印刷製本費	1-3月分コピー代 (株)国際文献社	280
		関東支部実技講習会会場代	千葉大学	95,000
	前受金	租税公課	令和元年度消費税	140,100
		第75回学術講演会		270,000
		2020年度九州支部講演会寄附金	東屋医科器械	100,000
		2020年度入会金		6,000
	前受会費	2020年度年会費		1,711,000
	預り金	源泉税(給与・報酬)		172,215
	仮受金			0
流動負債合計				2,637,457
負債合計				2,637,457
正味財産				75,359,357

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式により行っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
第4回東アジア顕微鏡学会議特定資金	1,000,000	0	0	1,000,000
70周年記念企画事業積立金	3,200,000	0	3,200,000	0
長船記念特別研究奨励金特定資金	3,000,000	0	1,500,000	1,500,000
IMC開催準備資金	10,000,000	0	0	10,000,000
学術振興積立預金	23,970,671	0	0	23,970,671
小計	41,170,671	0	4,700,000	36,470,671
合計	51,170,671	0	4,700,000	46,470,671

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	うち指定正味財産からの充当額	うち一般正味財産からの充当額	うち負債に対応する額
基本財産				
定期預金	10,000,000	10,000,000	0	0
小計	10,000,000	10,000,000	0	0
特定資産				
第4回東アジア顕微鏡学会議特定資金	1,000,000	0	1,000,000	0
長船記念特別研究奨励金特定資金	1,500,000	0	1,500,000	0
IMC開催準備資金	10,000,000	0	10,000,000	0
学術振興積立預金	23,970,671	0	23,970,671	0
小計	36,470,671	0	36,470,671	0
合計	46,470,671	10,000,000	36,470,671	0

附属明細書


1.基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産について、財務諸表注記 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載をしているため、記載を省略する。

令和2年5月13日

監査報告書

公益社団法人 日本顕微鏡学会
会長 幾原 雄一 殿

監事 近藤行人 

監事 馬場則男 

私たち監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。

その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

第3号議案. 年会費と入会金見直しの件

以下の通り年会費及び入会金の改定を提案します。
新価格は令和3年度(2021年度)から適用します。

1. 改定後の価格

	正会員 年会費	学生会員 年会費	シニア会員 年会費	正会員入会金
新価格	¥11,000	¥3,000	¥6,000	¥0
現行価格	¥9,500	¥6,000	¥6,000	¥1,000

※学生会員の入会金は不要(現行も不要)

2. 改定の理由

- ① 赤字財政が続いており正味財産残高が減少している。
- ② 28年間年会費を据え置いている。
前回の値上げは平成4年4月に7,500円→9,500円。(当時の消費税は3%)
- ③ 減少する学生会員増加を図るため学生会員の年会費を値下げする。
- ④ 新入会者促進のため正会員の入会金を不要にする。
- ⑤ シニア会員の年会費は据え置きとする。
- ⑥ 価格改定により約200万円の増収を見込んでいる。

第4号議案. 名誉会員推薦の件

本会名誉会員として大野伸一会員、田中信夫会員の2名を推薦する。

〈推薦理由〉

大野伸一会員は、1981年～1983年まで米国NIHで急速凍結ディープエッチング(QF-DE)法を習得し、1984年～1992年まで信州大学医学部で「ヒトおよび実験動物の種々細胞組織の電顕形態学的研究」をしてきております。1985年前後には、ウィルス感染細胞内でのウィルス遺伝子を同定し、遺伝子結合蛋白との関連性を明らかにされました。さらに細胞極性を誘導した培養甲状腺細胞の細胞骨格構造が、ホルモン合成能と深くかかわることも報告しました。1990年代になり、マウスとヒト腎糸球体係蹄壁の三次元的微細構造についてもQF-DE法で検索し、足突起間隙膜 zipper 様構造や基底膜顆粒状陰性荷電部位が、電顕試料作製過程での人工産物として形成されることも明らかにされ、実験的血清病腎炎、馬杉腎炎、糖尿病腎症などの病態における電顕的微細構造変化も報告されました。一方、肝組織においては肝内胆汁うっ滞モデルラットの肝細胞内骨格構造を明らかにし、ジストロフィンの培養筋細胞内局在などについても報告されています。以上のようにQF-DE法により、超薄切片上では病理学的解析が困難であった超微形態学的変化を検索してきておられます。1993年頃には、ヒトおよび実験動物の正常および病的赤血球膜骨格構造についてもQF-DE法で解析され、1994年頃より、急速凍結に使用する新鮮無固定試料の切除に伴う虚血と酸欠の影響をおさえるために、独自のアイデアに基づき、循環血流を遮断せずに生きた動物生体内臓器をミリ秒単位で凍結し、その超微形態像をナノレベルで電顕解析する「生体内凍結技法」を開発されました(Dynamic structure of glomerular capillary loop as revealed by an in vivo cryotechnique. *Virchows Arch.*, 427:519-527 (1996))。また、この生体内において生理的機能を営む臓器を半自動的に凍結する生体内凍結装置も新たに開発されました(“In vivo cryotechnique” for paradigm shift to “living morphology” of animal organs. *Biomed. Rev.*, 15:1-19 (2004) (Review))。本装置は、生体組織の一部を直接に凍結後分割して採取し、顕微鏡による観察試料を作製するものです。この生体内凍結装置は、従来にない方法で生体内組織の急速凍結を可能にするもので、種々の血行動態下における形態学的変化を保持したまま、電子顕微鏡や光学顕微鏡で観察可能な試料を作製することができます(Application of in vivo cryotechnique to the examination of cells and tissues in living animal organs. *Histol Histopathol.*, 21:265-272 (2006))。

その後、この生体内凍結技法と凍結置換固定法、エッチングレプリカ法、凍結乾燥法等による電顕および光顕試料作製法を併用し、生きた動物生体内細胞組織の形態学的解析のみならず、機能蛋白分子のダイナミックな局在を、時間分解能を極限まで高めて、免疫組織細胞化学的に解析されました(Immunohistochemical detection of phosphorylated rhodopsin in light-exposed retina of living mouse with in vivo cryotechnique. *J. Histochem. Cytochem.*, 54:479-486 (2006))。この新しい「生体内凍結試料作製法」は、基礎医学および臨床医学分野での応用範囲が広く、21世紀のポストゲノム時代の医学生物学研究発展に、大いに貢献しております(“In vivo cryotechnique” for examination of living animal organs, further developing to “cryobiopsy” for humans. *Recent Res. Devel. Cell. Biol.*, 6:65-90 (2006) (Review))。

2012 年頃には、蛍光量子ドット血管内注入法および蛍光蛋白発現細胞の蛍光イメージング法と免疫組織細胞化学法を使用して、光顕用組織切片上で移植癌細胞組織の血行動態を解析されております (Imaging of thrombosis and microcirculation in mouse lungs of initial melanoma metastasis with in vivo cryotechnique. *Microvas. Res.*, 91:73-83(2014))。この新しい生体内凍結技法—蛍光イメージング法および免疫組織細胞化学法は、機能分子形態学的分野での応用範囲が広く、今後も貢献するものと考えられます (In Vivo Cryotechnique in Biomedical Research and Application for Bioimaging of Living Animal Organs. Springer Japan., Tokyo, (2016))、(*Anat. Sci. Int.*, 92 :55-78(2017))。

以上のように大野伸一会員は、独創的な“生体内凍結技法” (2007 年瀬藤賞)を開発するとともに、日本顕微鏡学会第 56 代会長として、社会的および学術的リーダーシップをとられましたので、本学会の名誉会員にふさわしいと考えて、ここに強く推薦いたします。

<推薦理由>

田中信夫会員は、主に名古屋大学において 2000 年(平成 12 年)頃までに高分解能透過電子顕微鏡を用いて以下のような先進的研究に従事された。

- ・不規則合金構造の研究、真空蒸着薄膜の成長初期過程の研究
- ・金属/酸化物複合膜の構造と物性の研究
- ・MgO 単結晶中の原子クラスターの TEM と STEM による観察研究 (一部は日立中央研究所にて)
- ・高分解能電子顕微鏡の結像理論の研究、走査透過型電子顕微鏡 (STEM) の研究 (一部はアリゾナ州立大学にて)
- ・金属微粒子およびナノワイヤの研究
- ・高分解能走査透過電子顕微鏡 (STEM) による金属—絶縁体相転移の研究 (一部は米国オークリッジ国立研究所にて)

この間、1983-85 年には米国アリゾナ州立大学理学部客員研究員、1998-99 年には米国オークリッジ国立研究所客員研究員を併任され、これらの場での国際的な活動を含めて、高分解能透過電子顕微鏡の理論・材料研究への応用の先駆者として多くの研究実績を残された。

1998(平成 10)～1999(平成 11)年に球面収差補正装置が発表されると、いち早くそれを日本に取り込み、それを活用した実践的研究に尽力された。ただ装置を購入して使うだけではなく、発明者であり開発者でもある H.Rose 教授や M.Haider 博士と改良すべき点や有効な活用法について何度も深い議論を重ね、収差補正装置の全世界への普及とそれを十分活用したナノ材料研究の革命的発展に大きな貢献をされた。

さらに、理化学研究所と共同で 3 次元電子顕微鏡の開発、世界初の反応科学超高压電子顕微鏡の開発と活用、および世界初のスピン偏極パルス透過電子顕微鏡の開発などを指導され、名古屋大学と我が国が世界に誇ることのできるオリジナリティーの高い研究のリーダーとして活躍された。これらの長年にわたる研究業績は、240 編以上の学術論文、英文著書 5 冊、和文単著 2 冊、和文著書 16 冊という形で残り、高分解能(走査)透過電子顕微鏡 (HR(S)TEM) の第一人者として世界で広く認識されている。

また研究のみならず工学研究科結晶材料工学専攻の大学院生や工学部物理工学科応用物理学コースの学生などの後進の指導にも惜しみない努力をされた。

このような功績により日本電子顕微鏡学会賞(瀬藤賞)や論文賞等を受賞された。また世界で唯一の反応科学超高圧電子顕微鏡の開発により、平成 26 年に文部科学大臣表彰科学技術賞受賞となった。

日本顕微鏡学会においては、平成 18 年に札幌で開催された International Conference on Microscopy (IMC16)の装置・材料系プログラム委員会委員長を務め、会議を大成功に導いた。また、先述のとおり優れた研究業績と会員からの信頼・期待によって、平成 27 年～29 年の第 57 代日本顕微鏡学会会長に選出され、学会の改革と活性化に尽力された。

以上のような、卓越した研究のご業績、学会へのご貢献はまさに日本顕微鏡学会の名誉会員にふさわしいと考える。よって、名誉会員に強く推薦する次第である。